

大和の歴史は我らが守る! 「大和町文化財を守る会」

大和区民活動センター運営委員会

<http://www.nakano-yamato.gr.jp/bunkamamorukai.html>

〒165-0034 東京都中野区大和町2-44-6 TEL.03-3339-6125

大和町の歴史や文化財を残そうと、平成27年発刊歴史書の「大和町うるわし」編集委員に新メンバーが加わり、大和区民活動センター事業として活動しています。

この町が「大和町」になった事の歴史や、そこに住む人々の記録などまとめ大和ギャラリーの展示や文化祭、ニュースやHPでも見て頂ける様になりました。なお皆様から大和町の昔の写真や、お話なども、ぜひ聞かせてください。



堀江家文書江戸後期の**大和町、上沼袋村** 文化三年1806年

今までまとめた、守る会作成の資料

- ① 第一回卒業記念写真帳 昭和二年三月 野方第五尋常小学校(啓明小学校卒業写真)
- ② 啓明小学校(国民学校)昭和十八年 学童疎開 アルバム 思ひ出
- ③ 大和町うるわし中野区大和町の歴史歴史編纂委員会編集平成27年 活動センター発行
- ④ 大和町うるわし(地図編) 中野区大和町の歴史 活動センター発行 平成27年
- ⑤ 大和町の棟方志功 東京都中野区大和町 大和町文化財を守る会 平成二十九年七月
- ⑥ 大和の碑の記録 中野区大和町大和小学校 大和町文化財を守る会 平成二十九年
- ⑦ 東京都中野区大和町の洋画家 松木満史 大和町文化財を守る会 平成三十年
- ⑧ 中野区大和町の洋画家 松木満史 追補 大和町文化財を守る会 平成三十一年
- ⑨ 昭和ノスタルジー大和町の家並み 昭和十年代 大和町住人 小原康延 北水子
- ⑩ 平成30年中野区大和町とその時代を少しだけ作った人達の似顔絵の記録
- ⑪ 大和町にあった コロンビアテレビ 文化財を守る会 2018 秋
- ⑫ 阿部晃工(1906-66)彫刻家 昭和の左甚五郎 その大和町に残る作品木彫の記録
- ⑬ 本間さん宅訪問 大和町文化財を守る会 二〇一九年 二月二十三日
- ⑭ 第1部 大和町の報道カメラマン小川信一展
- ⑮ 第2部 オリンピック資料 大和町在住の馬場さんが残してくれた第18回オリンピック資料
- ⑯ 第3部 動乱のベトナム(小川信一展)大和町文化財を守る会 平成三十一年 早春
- ⑰ 青森県の素描 絵と文 松木満史 東奥日報 昭和三十四・五年連載
- ⑱ 大和町で見つかった 昔の写真集 大和町文化財を守る会 令和一年秋
- ⑲ 中野区大和町の二軒長屋 その解体の記録 令和2年初夏 中野たてもの応援団
- ⑳ 中野区大和町 松本邸の記録 令和2年 初冬 中野たてもの応援団
- ㉑ 啓明小学校の昔と今 令和3年2月9日 大和町文化財を守る会(啓明小で授業)
- ㉒ 大和町 町名の歴史 令和3年 コロナ月 古代史(昔の噂話)研究家 布瀬川 浩一
- ㉓ 國井誠海展 現代書のパイオニア
- ㉔ 大和町の有名人
- ㉕ 大和町の有名人 涌井友子さん
- A 豊多摩監獄 表門の話 2019年夏 TK
- B 古代隣国から見る「我が国」古代史(昔の噂話)研究家 布瀬川浩一 令和二年 初夏

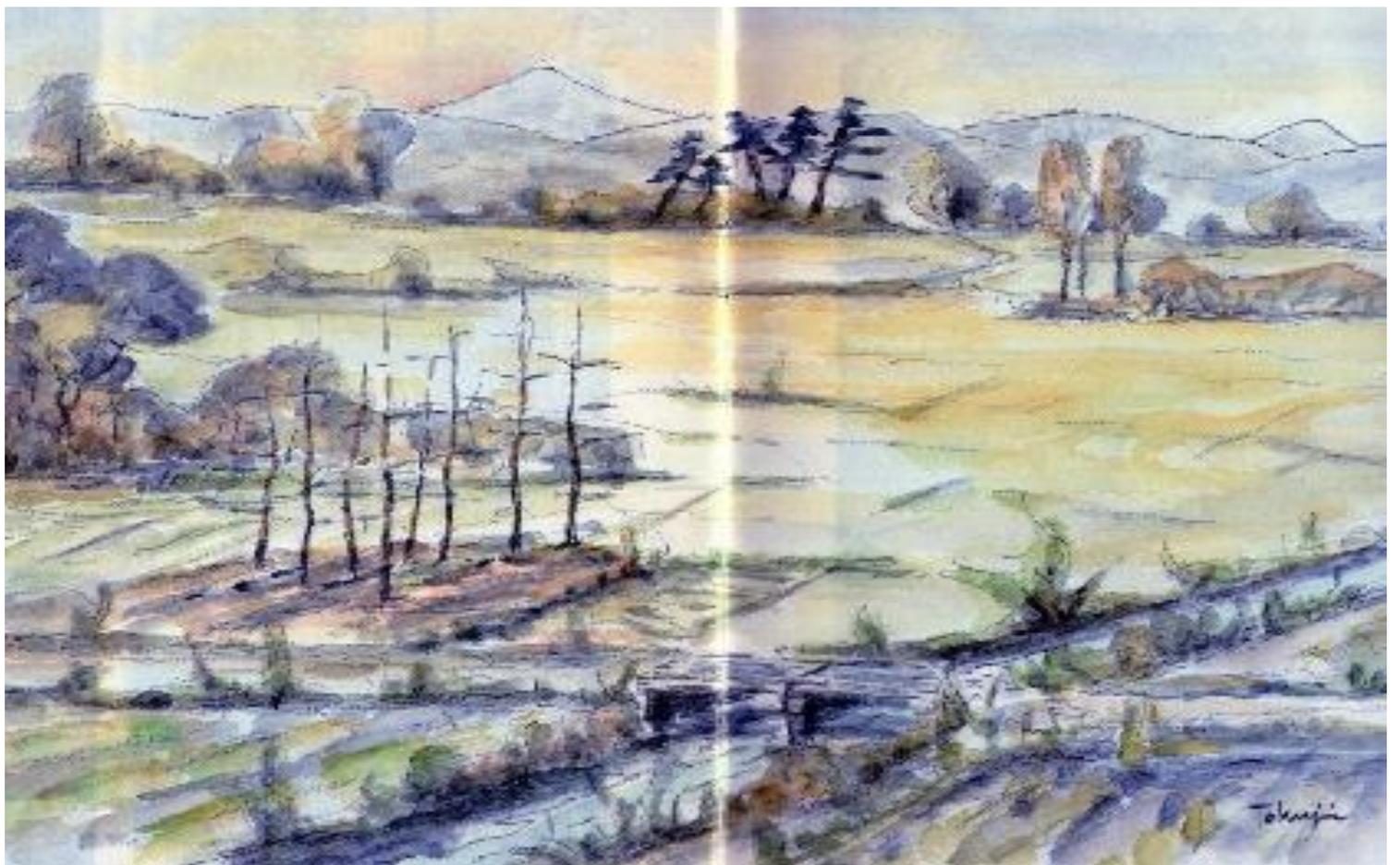


③大和町うるわし 平成27年
大和町の歴史(HPあります)
大和町の歴史 地図編

中野区大和区民活動センター運営委員会発行
大和地域 歴史編纂委員会 編集 平成27年



①啓明小学校 第一回卒業記念写真帳 昭和二年三月
落成時の名前は野方第五小学校



その第1回卒業生が描いた、当時の大和町風景
遠くに見える富士山と妙正寺川、太陽橋



東京都中野区大和町の洋画家

松木満史

大和町文化財を守る会 平成三十年

表紙 ライフ又(部分)

⑤棟方志功さんの、東京市沼袋南のハガキ。大和町になる前の幻の番地沼袋南は昭和7年から9年のわずか2年

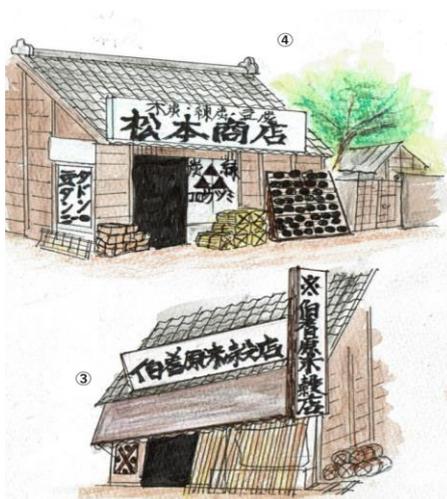
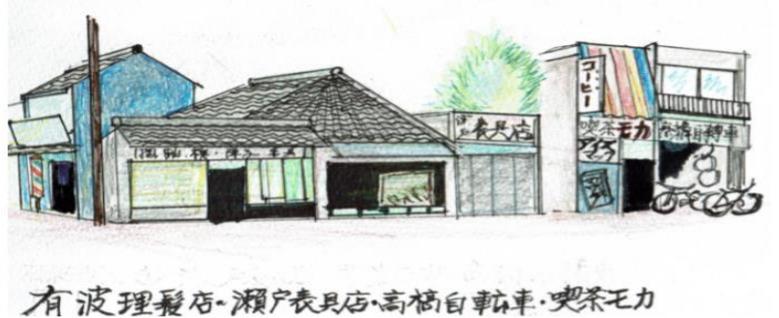
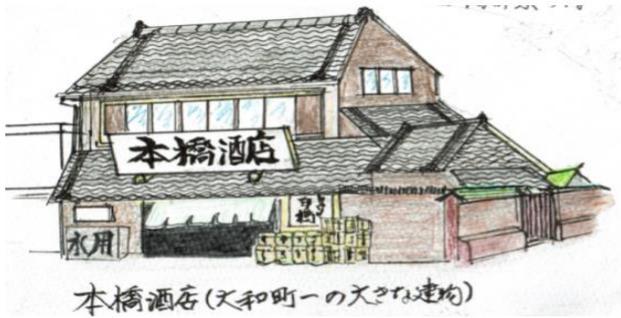
⑦⑧その棟方志功さんを大和町に招いた、同郷の洋画家の松木満史さん



⑭ 第1部 大和町の報道カメラマン 小川信一展



⑥大和の碑と子供達 鹿鳴館の石、旧大和小学校の記録



⑨大和町昔の街並み
記憶によるスケッチ
小原康延 北水子

みんなの大和NEWS

<発行部数 6900部>

発行 / 中野区大和区民活動センター運営委員会
編集 / みんなの大和NEWS編集委員会
住所 / 〒165-0034 中野区大和町 2-44-6

TEL / 03-3339-6125 FAX / 03-3339-6126
Email / nakano_yamato@coast.ocn.ne.jp
HP / http://www.nakano-yamato.gr.jp/



「炎のイレブン」の皆さんです。



(後列左から) 江夏 隆氏・石川 久氏・山崎直明氏・平田敏昭氏・斎藤紀男氏
(前列左から) 勝岡純一氏・布瀬川浩一氏・吉光寺久明氏・近藤敏明会長・松澤勇治氏・太田文雄氏

大和の歴史は我らが守る！

皆さんは「大和町文化財を守る会」の存在を知っていますか？
「炎のイレブン」と自称する方々が、大和町の歴史に関わる物や人物の写真・資料の保存活動をしています。これまで大和ギャラリーで発表した活動成果をご披露していただきました。

■守る会立ち上げのきっかけに

大和小鹿鳴館の礎石



大和小学校にあった大和の碑

大和小学校にあった「大和の碑」の石材は、鹿鳴館の跡地に本社があった大和生命保険が、大和小25周年を迎える際に鹿鳴館正門の礎石25個を寄贈したものです。

平成29年4月、大和小と若宮小の統合・美鳩小学校開校により「大和の碑」は撤去するとの発表がありました。そこで大和町歴史編集委員が中心となり「大和町文化財を守る会」を立ち上げ、関係各所との折衝を重ねた結果、礎石を左記の形で保存することが決まりました。

■大和小記念碑「大和校われらが母校」を、



美鳩小に設置予定の碑「大和校われらが母校」



会員宅で保存されている礎石



▲大和ギャラリーで展示された「大和しよし」



▲「大和町の棟方志功」に来られた富山県福光町の学芸員の方と共に

棟方志功

大和町の偉大な板画家は、わが町の誇り！

棟方志功は、昭和4年〜18年の間、大和町に在住しました。この間数々の大作を生み出し、板画絵巻「大和しよし」は昭和11年の国画会に発表されたもので、昭和9年に沼袋南から大和町に町名変更されたことが、創作するきっかけの一つと言われています。ギャラリーでは「大和しよし」の作品のほか、大和町での生活や家族構成まで紹介しました。

棟方志功を大和町に招いた松木満史



明治39年青森県つがる市に生まれ、大正から昭和にかけて活躍した洋画家。昭和2年に結婚し、上沼袋(現・大和町4丁目)にアトリエを建てて住居とし、同郷の棟方志功が寄宿していた時期もありました。題材に馬が多く、その画風が親しまれました。作品に「沼袋風景」「哲学堂近景」などがあり、最後の大作は「ラリーユ」です。



代表作「ラリーユ」

大和ギャラリーでは3月17日までに「洋画家の松木満史展」を開催中です。



大和町の文化財？八幡様と、蓮華寺ぐらいでしょ！と、蓮華寺ぐらいでしょ！と、ちよっと待ってください。

会長 近藤敏明

大和町文化財を守る会

歴史保存は、我々の永遠のテーマです。実は、この町が「大和町」になった時に、若き「棟方志功」が青森からこの町に住んで、世界に羽ばたく作品を作ったのです。大和小学校にあった「大和の碑」は「鹿鳴館」黒門の礎石で、国宝だったと驚いていると、今度は「ゴジラ」。実は「ゴジラ」は大和町で生まれた。と言ったら、きつと皆さんはビックリでしょうね。今、中央通りの街並みがどんどん変わりはじめ、大切な事がどんどん消えてゆき気がします。今回大和ニュース掲載にあたり、皆さんにお願いがあります。昔の町の写真や出来事、住んだ事があり、文化やスポーツで活躍した有名人の事など、ぜひ情報をお寄せください。

■連絡先 / 大和区民活動センターまたは近藤敏明 ☎(6303) 8850

●大和区民活動センター運営委員会のホームページも、ぜひご覧ください。
http://www.nakano-yamato.gr.jp/ 左のQRコードが利用できます。

